大根占町報

第59号

発行所
大根占町役場
電話 大根占1番
編集兼発行人
遊喜半次郎
印刷所
鹿児島市易居町2番地
南日本新聞社印刷局
電話2200番

畜産業務を一本化
町畜産振興会設立さる
初代会長に遊喜町長

畜産業務の一本化を図ることは本町畜産振興上最大の急務とされ長い間の懸案となつていましたが去る十月三十日設立され発足することになりました。

このことは、数年前から町民一般からも設立の要望があり、役場としましても再三この設立を図るよう計画しましたがいろいろの事情で現在まで延びていました。今回両農協をはじめ関係者の方々の協力を得て、設立されたのであります。

振興会の構成は

一、和牛部（生産、肥育育成）
二、馬匹部
三、養豚部
四、緬山羊部
五、家禽部（蜜蜂を含む）

の五つの部からなつており、会員は町内に居住し、家畜を所有または管理している者をもつて組織し加入脱退は自由となつています。会員は自分の好きな部に入ることができます。

初代の役員には

会長　遊喜半次郎
副会長　長岡正一
部長　和牛部長　中俣道夫
馬匹〃　橋口信夫
養豚〃　春川正平
緬山羊〃　三反田友吉
家禽〃　落司　孝
監事　有川清志　野間達夫
毛下清武
顧問　本釜清　宮園直矢

の各氏が選ばれこのほかに委員若干名が選ばれることになつています。次に振興会の仕事について申し上げますと。

一、畜産技術の導入
一、家畜の共同販売
一、保単制度の実施
一、畜産に関する事務処理
一、県有種牛種馬種豚の貸借
一、肥育豚の貸付
一、家畜衛生防疫に関する事項
一、家畜共済の利用並に普及
一、飼料の生産並に共同購入
一、有畜営農の普及奨励
一、品評会講習会の実施
一、その他目的達成に必要なる事業

以上が規約に掲げられた事業計画ですがこのほかに畜産についてのいろいろなことについて会員の相談に応ずることになつています。

振興会の本格的な業務開始は予算等の関係で来年の四月からとなりますがそれまでの間は役場の経済課で事務を代行することになります。今各部落長さんを通じて申込を受けていますので皆さん方の振興会として大いに利用し健全なものとして育てて行くため家畜飼育者は一人残らず加入して盛り上げて行つて下さるようお願いいたします。

本会の加入には入会費などは一切いりません。

新型消防車と動力ポンプ到着

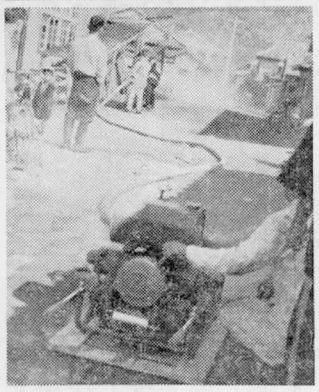
長い間待ち望まれていた中央分団の新しい消防自動車がこの程到着、十月十九日その入魂式が盛大に行われました。

この消防車は大根占校区民が百万円を寄附し、国庫補助四〇万円町費八三万一千円計二二三万一千円で購入したものです。

自動車は一九五七年型A2級いすず一〇五馬力を一〇五万円で鹿児島いすゞ自動車KKから、ポンプを一〇七万三千円で西前消防機材KKから、その他ホース一〇本、ラジオ、スピーカー、モーターサイレンなどがとりつけてあり、一分間にドラム缶一九本に相当する放水能力をもつています。

また、神川分団では校区民から一〇万円、分団員から一〇万を拠出、町費一〇万円を合せて二四馬力の新型動力ポンプを購入、本町の消防力にさらに威力を加えることになりました。

☆



（写真上は消防車入魂式、下は動力ポンプ）

★

話し合いで
よい政治・明るいくらし
5日から15日まで　公明選挙強調週間

十一月五日から十五日まで公明選挙強調期間として全国的にいろ〳〵の催しが行われます。

「選挙を明るく、正しい姿に」するためには単に取りしまりをきびしくするだけでなく、国民の一人一人が政治に対する正しい考え方と判断力をもつことが一番必要なことであります。

この意味で本年から全国的に公明選挙連盟や選挙管理委員会、社会教育団体が協力して選挙の時だけでなく年間を通じて「話し合い運動」を積極的に押しすゝめることになつています。

「話し合いの運動」は決してことむずかしいことではなく、部落や婦人会、青年団、その他のグループで困つていること、なやを見つけて話し合い、これを建設的に解決して行くというやり方であります。簡単に云えば「井戸端会議」を建設的に発展させたものだと考えてよいわけです。

※世論調査を実施

町公明選挙推進協議会では、十一月五日総会を開き、この「話し合い運動」をどうしてすゝめてゆくかについて協議しましたが、まず「話し合い」にとりあげる問題を見出すために世論調査を行うことを決めました。

この世論調査は十一月下旬、部落長さんを通じて行われる予定ですが、調査票が各世帯に配布されたときは、御主人だけの意見ではなく、家族みんなで話し合つて記入するようにして下さい。

話し合いはまず、「家庭での話し合い」からはじめて下さい。

そしてそれから「グループの話し合い」「部落の話し合い」へと発展させてゆきましよう。

× × ×

……公明選挙推進全国青年青年弁論大会が行われることになり、十月七日その県大会が行われましたが、本町からは町大会で一位になつた川越太一君が、肝屋郡代表として出場、堂々の論陣を張りましたが、惜しくも入賞することはできませんでした。

なお、一位は川辺郡代表の有園清子さん（二〇才）でした。

川越太一君出場、……

はじめての肉牛市場開く

本町ではじめての肉牛市場が十月三十一日鳥井戸せり市場で開かれ初のこゝろみとしては上々の成績でその将来が期待されています。

当日の出場頭数は五六頭、内取引されたのは一三頭で売上金額は一、〇四九、八八四円

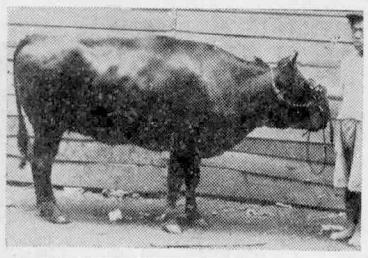
最高は一二五、〇〇〇円の高値で取引されました。

今後の課題としては出場頭数の増加と採算のとれる管理（元牛の選定）が強く要望されています。

なお、当日は肉牛の品評会も開かれましたが入賞者は次のとおりです。

1、浜園鉄男
2、鳥越　繁
3、鳥越資則
4、後釜光徳

今後は臨時市場として来年三月頃第二回目が開催される予定ですから今から充分飼育管理につとめこの市場の声価を高めるよう御協力下さい。



（写真は一二万五千円で取引された牛）

「力士大根占後援会」発足

昨年五月、井筒部屋に入門した大根占辰己君（本名柳出辰己＝神之浜出身）の後援会結成式が十一月一日行われ、会長に遊喜町長、副会長に加藤大中校長、大山勝己外顧問、理事等の役員を決め、会員募集にのりだすことになりました。会員費は年一〇〇円の予定、なお、大根占は福岡本場所の新番付で一躍三二枚躍進、序三段三十二枚目に昇進、今場所六勝以上の成績をあげれば、来年初場所には幕下に昇進できるのではないかとみられています。

× ×

国鉄の「高速線」を視察して

日本国有鉄道では営業の合理化を図るため、福島県白河市と棚倉間に二四粁の高速専用道路を建設しており、今回鉄道管理局の要請でその状況を視察して参りました

近代の交通機関として自動車の役割は益々重きをなしていますが鉄道建設に代り完全舗装の専用道路により旅客貨物の運輸を初の試みとして行われたものでこの道路を高速線と呼んでおります。

この線は従来鉄道が布かれていましたが戦時中鉄道資材の必要からレールを撤去され、戦後地元においては鉄道として復活することを要望しておりましたが、国鉄としては経営合理化の立場からいろ〳〵研究された結果、前記のように専用道路に国鉄自動車によつて運営することが適当であるとし、本年四月から運行を開始されたものであります。

従つて従来の鉄道線路をそのまゝ舗装道路とし、他の自動車は一切通行せず、二四キロを四〇分で運行しています。（ガソリンカーの場合は約五五分）

◇将来の問題

本町の場合を考えますと、現在隼人―大泊間鉄道期成同盟会があり、国分―古江間の工事は着手されていますが、高須以南は全然名目だけで調査もされていないので国分―古江間の工事促進方と高須以南の調査方を陳情請願することになつています。

高速線は鉄道建設の半分の経費でできるそうで、鉄道に代る線として運動してもいいのではないかと思われます、

国鉄バスは民間の圧迫もありまして水産部門の補助奨励費は九牛の一毛にもすぎない有様であり強く町長並に議会議員に反省を促す次第であります、九州漁村青年大会に於いて各県の水産事情を耳にする時他町村の水産行政の活発な展開は驚くばかりであり肩身のせまい思いで悲しさとも淋しさとも分らい感傷の低徊つて参りました。

大根占町に於ける年間の魚の需要量は約八万貫にて田代村への供給量を合算すれば少くとも年間十五万貫の魚を必要として居るのでありますが資金の乏しさから来る設備の不完全と旧来の非科学的な漁労方法に依る不漁の為尊ら外来船の搬入と他市場からの漁獲物のみに依存して居る現状であります

限られた農地に人間だけがひしめき日増に深刻なる経済の苦汁をなめねばならぬ時果てしない海のみが限りなき資源を秘めて開拓の日を待ち託びて居るのでありまして郷土産業の発達は一に水産業の開発に負う所が多い事は今更私が申す迄もありません。然しながら小資本の零細漁民にとつては充分に活動し得る装備と資材の購入が出来ずあたら卓越した逞しき両腕を組んだ低今日も遥かな水平線を眺めてはやるかたない思いに耽つて居る現状であります。時の流れは省々として渦を巻き今や水産業の形態は沿岸から沖合へ又沖合から遠洋へと大飛躍をなしつつあります、私共零細漁業に於きましても沿岸水産資源の枯渇に伴い新漁場の開拓と年間操業に重点をおき漁家経営の合理化を図らねばならない重要な岐路に立たされて居ります、吾々大根占町漁業振興会に於いては此の転換期に対し来年度より実施計画予定の新農山漁村建設促進法と沿岸漁業整備促進法の適用をうけ無動力船の動力化と技術の改良に努力いたす事に決定いたしました、とかく漁村に於ける封建的思想と漁民の古い因習は根強いものがあり漁業の改良進歩を阻む最も大きな要素となつて居りますが組織の力とひたむきな青年の情熱と固き信念に依つて徐々に解決出来る事を信じて居ります。

この問題につきましては各県より二名づつ選ばれて私もNHKの座談会に出席し大いに語りまくりましたのでラジオでおきき の事と思いますが各県ひとしく悩んで居る事は根本的には水産関係の立法化と漁業資金の導入が主体でありました私共も組織の強化を図り漁協と手をとり今後の大根占町水産業の歩みを真剣に検討し漁民の真の幸福を求めて努力致したい決心を固めました、どうか町民の皆様の御援助をお願いいたします。

★

☆

水産業振興について
（声）（の）（民）（町）
＝九州山口地区漁村青年大会に臨みて―

川越一郎

最近益々逼迫しつゝある沿岸漁村の危機打開の為に新しい村づくり運動が力強く推進されつゝある然も運動の中核として青年組織に期待する処は極めて大きい。

こうした大きな期待に応えて今回長崎県雲仙温泉に於きまして第二回九州山口地区漁村青年大会が開催され相互研修と体験交流を行つて青年運動の進展と沿岸漁業の振興について花々しい舌戦が展開されました、不肖私も鹿児島県参加団の一員として本大会に出席し本町水産業の実体と今後の打開策について志を同じうする青年諸君と大いに語りましたのでその一端と感想を記して見たいと思います

こよなく海を愛し唯一途に水産業の発展を叫び続ける吾々漁村青年のひたむきな情熱も打続く不漁の前には如何ともなし難く日一日と深刻の様相を呈しこの侭に放置すれば自滅の難は免がれない状態であります。かかる危険に直面しこれが打開の方策を講ずべく吾々同憂の士相糾合し大根占町漁業振興会を結成いたしました事は本町水産業の進展の為当然の措置であり此れが健全なる発達を遂げ目的を達成するについては町当局は勿論漁業協同組合に置かれても惜しみなき御援助と御指導を賜はらん事を希むと共に町民各位の御理解と御鞭撻を切にお願いいたす次第であります。

今や他産業に於いてはあらゆる科学的な技術と資材を投入して最高度発達を遂げて居るにもかかはらず唯大根占町の漁業のみが時代の孤児として取残されて行く現状は悲慣此の上なき醜体であります

幸いにして今年度は町の理解ある御助力に依り合はせて国県の補助もありましてかねて熱望して来たコンクリートブロック魚礁の沈没を施行いたす事が出来衷心より関係当局に感謝いたして居る次第であります、然しながら本町行政面に於ける水産の施策はまだ〳〵微々たるものであり農業部門に比較して水産部門の補助奨励費は九牛の一毛にもすぎない有様であり強く町長並に議会議員に反省を促す次第であります、九州漁村青年大会に於いて各県の水産事情を耳にする時他町村の水産行政の活発な展開は驚くばかりであり肩身のせまい思いで悲しさとも淋しさとも分らい感傷の低徊つて参りました。

火の元に御用心

二六日から十二月二日まで全国火災予防週間です

そろそろ火が恋しくなり、火災のシーズンがやつてきました。

農家でもとり入れなどで忙しく火の始末がおろそかになつたりします。火災シーズンを前にして注意する点を考えてみましよう。

◎火災予防と清掃、整頓

空巣は玄関の乱雑な家を狙うと云われますが火事の場合も同じです。日頃火を取扱うかまどの周囲や風呂場など常にきれいに掃除され整頓されているところから火事が起るわけはありません。

◎火を取扱う設備、器具

火を取扱う道具などの破損がよく火事の原因になります。えんとつの破れもあまり燃料を使わないときは何事もなく、急に沢山使い出すこれからの時期に火事を起す例がたくさんあります。

◎農繁期と火災

秋の農繁期は、農家では猫の手も借りたいほど忙しく、平素の注意が行きとどかないし、夜分はつかれてぐつすり寝るという日が続きますからとくにこの時期は火の用心が大切です。

「町民の声」をつのる

町政への批判、意見、希望など、卒直な町民の声をお寄せ下さい。住所氏名を明記し、毎月25日まで「広報係」へ送つて下さい。

今月の納税

町県民税
第3期

農業情報

反収の増加と コストの引下げを

農業をとりまく諸情勢や農業自体についてのいろいろな問題を農家の皆様に知っていただくために県が発行している農業情報を各作物別に本年度下期における動向をとりあげることにいたしました皆様のお役にたてば誠に幸いであります。

『米』

見とおし　①一九五七年の世界の米の過剰生産は大体解消したとみて良いであろう。したがつて輸出余力は輸入とほぼ均衡するものとみられるが貿易価格は横ばいを続けるだろう。

②現在のところ本年産米の作況は三〇、三一年に続いて豊作が予想されているので需給上の影響はないものと思われる。

心がまえ　米作は米に対する国民の嗜好面からしても農業の中核をなしていることは今後とも変らないところである。従つて品種更新や秋落田、湿田対策、施肥改善、病虫害防除等々あらゆる施策を講じてこの増産につとめることが必要である。

なかんづく台風常襲地帯の稲作を災害から防止し農業生産の安定を図るためには早期水陸稲の強力な推進が当面の緊急事であるがこれが推進にあたつては次の事項を考慮する必要がある。

一、前後作の問題を充分検討し、水陸稲に支障を来さないよう心がける。

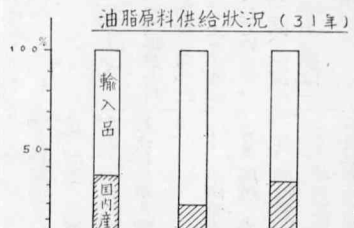
二、労力の節減水利問題の解消病害虫防除の面から集団化の促進をはかる。

三、跡作利用による商品作物導入にあたつては販売面についても十分考慮する。

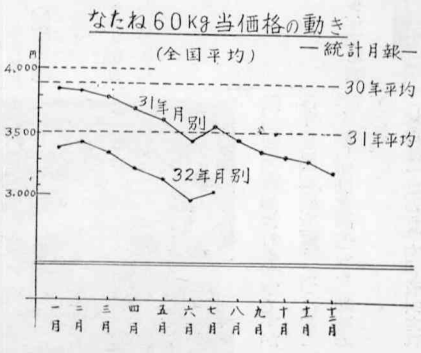
四、三〇、三一年産米の経験に鑑み乾燥調整等に極力留意して検査等級の向上につとめること。なお本年産米の普通水陸稲も出荷期を迎えるので乾燥調整をよくして品質の向上を計ること。

『なたね』

心がまえ　なたねは冬作物中最も有利な換金作物であり殊に九州地方には特産物となつて普及しているが次の図に見るように国内の年間の需給計画中原料については、食用油脂は七割近くを輸入に依存し、しかも安価な輸入大豆の存在は国内産原料を苦しめている、作付動向としては明年も減産は予想されず九州地方では本年同様相当の生産が行われるであろうが高値を期待することはできずむしろ現在程度の価格に耐えうるよう反収の増加とコストの引下げを同時に進めて行かなければならない。



価格　なたねの価格は図表にあるように昨年に比べて六〇キロ当りで五〇〇円以上の値下りのまま動いている。政府の支持価格は六月末に発表されたが一等から三等の平均で六〇キロ当り（はだかゝ）二九六〇円と昨年より六〇円高く決められた。一般の食用油の消費需要は最近伸びなやみ不活発な動きをみせているがそのため油脂及び原料の在庫が増加しまた製造業者は政府の金融引締政策の影響を受けて金詰りに見舞われ、なたね買入れの力が弱く更に品質の低下も手伝つて価格は低目を動いているのが特色である。今後の動きについても急に油脂需要が活発になる事は考えられず油脂製造業者も力が弱くなつているから到底高値への上昇は期待できないだろう。



成績展示品種の早稲陸稲

熟期の早い 新品種「岩手くるみ」 収量は少い？

昨年から実施して参りました本町の早期栽培も水稲につきましては本年は半ケ石、笹原、大尾の各山間部まで栽培され非常な好成績をおさめています。中でも陸稲の早期栽培は台風被害早害等を完全に回避して今までの普通栽培にくらべ格段の増収効果を見ております。

町としましてもこの早期栽培には全力をあげて普及奨励に努力していますが中でも陸稲の早期栽培には全面的な作付を強く呼びかけるものであります。

現在役場の技術員として池田支所に勤務して居ります中宅間技手の指導のもとに川南部落の段高志氏の試作されました品種の比較展示会の結果が得られましたので皆さんの参考の為にお知らせ致します

一、展示は設置の目的

現在までの早期陸稲の品種は成熟期が幾分おくれ台風の危険性があるため新品種「岩手くるみ」を導入し本品種の出穂及成熟がどのように変り収量がどの程度あるかを検討するものである

二、供示品種

新品種　岩手くるみ
在来品種　陸稲農林二一号
〃　東海　二九号

◎播種期　四月七日
◎作式　一尺×四寸（裸地）
◎播種量　反当八斤
◎肥料　元肥に堆肥二〇〇貫硫安六貫過石八貫塩加三貫以上を全量混合追肥として硫安六貫を三回（四月下旬五月中旬五月下旬）に各二貫あて分施
◎場所　町内城元道の迫
◎面積　一反歩
◎熟期及収量調査

次の図の結果から

一、生育については初期生育（六月頃）は早生の岩手くるみが最も盛んであり熟期の遅い東海二九号が最も貧弱であつた。

二、県で示す八月二十日迄に成熟する品種は岩手くるみであり池田宿利原校区の様な冷涼な気象条件では確実に八月二十日前に収穫出来る。

三、本年の場合は岩手くるみは少面積で然も熟期が早いので「スズメ」の被害が相当出た。

四、熟期の遅い東海二十九号は台風十号（八月十八日～二十日迄）に逢い倒伏して穂発芽がみられ粃（シラ）が多く品質が悪かつた。

五、収量の最も多いのは陸稲農林二十一号で反収玄米容量二石六斗四升で普通水稲と収量的には変らない成績であり台風十号にも逢つたが既に熟期に達して居り脱粒も少く被害も少なかつた

品種名	成熟期	熟期の遅延	出穂期
岩手くるみ	八月十四日		七月十二日
陸稲農林二十一号	〃 二十五日	十一日	七月二十五日
東海二十九号	〃 三十日	十六日	七月二十八日

ロ、成熟期の稈長及穂長

品種	稈長	穂長	備考
岩手くるみ	八四、七㌢	二〇、五㌢	十本調査
陸稲農林二十一号	九七、〇㌢	一九、八㌢	〃
東海二十九号	九四、六㌢	二一、六㌢	〃

ハ、収量調査

品種	一坪収重	反当玄米容量	比率
岩手くるみ	三三〇匁	一石七斗五升	六六、三%
陸稲農林二十一号	五〇〇匁	二石六斗四升	一〇〇%
東海二十九号	四六〇匁	二石四斗三升	九二、〇%

種のとまらない豚の手当

えさと病氣が原因

◇原因はいろいろある◇

秋は絶好の種付適期だつたのに何回かけても種がとまらない豚がいる。このまま繁殖豚として飼つていては損をする。そうかといつてあわてて売つてもどうだろう。やはり自分で飼つているからには、自分で原因をたしかめて手当なり処分するなりきめねばならない。

初産ではたいてい不妊になることはないが、多いのは子をなしてから次の種付がうまく行かない。いまのところ考えられる原因は次のようなものだ。

①同じ血統の身うち同志の種つけが重なり、妊娠しにくい子孫ができる。②栄養や飼い方が悪いためにおこる。③ホルモンの不足で卵巣の育ちや仕きが悪い。④子宮や卵巣が病気になつている。

◇エサや飼い方を改善して◇

以上のような原因だが、それはお互に関連し合つていることが多い。そしてすぐできてしかもぜひ必要なのはエサを含めた飼い方の改善だ。

前回妊娠豚にはぜひタンパク質を多くやれといつたが、ふだんからタンパク質（ダイズ粕、油粕、魚粉など）をやりすぎたり、フスマやヌカなどの濃厚飼料をやりすぎると脂肪がついて太りすぎる。

こうなると体質が酸性になり、睡のまわりにも脂肪がふえて酸性になり交尾しても精子が死んでしまう。つまり種がとまらないわけだ。

また反対に濃厚飼料やビタミンが不足しても発情しなかつたり種が止らない。とくに冬のエサはビタミンEが不足しやすい。これは発情や妊娠にぜひ必要なものだ。魚粉や脱脂粉乳、マメ科の草、コムギの胚芽、トウモロコシの胚芽などを少しずつエサにまぜて食わせ、できるだけ日光に当らせ運動することだ。

◇病気は共済に相談して◇

飼い方もエサもよいのに種がとまらないときは獣医に相談することだ。子宮の奇型や異状もあるし産後の経過が悪くて子宮や卵巣が悪くなつているものもある。素人判断ではわからない。

農地問答

農業委員会

問　先月の町報で土地取上げの手続等が記載されておりましたが私は小作人です。地主は「生活に困るから貸してある土地を返してくれ」と申されます、気の毒ですが返還しますと家族八人かゝえているので逆に私の方が生活に困つてしまいます。どうしても返さなければならないでしょうか。

答、質問の場合は農地法の二十条二項三号の判断の対象に該当しますが同号で「賃借人の生計」

病的なホルモン分泌が悪いのもある。それを発情ホルモンだけ打つては発情はおこつても種はとまらない。症状に応じて他のホルモン分泌をよくしなければならないから獣医にまかせること。

また太りすぎた豚の腟内を種付のまえにうすい食塩湯（ぬるま湯一升に五匁）で洗つてやると中和して種がとまる。しかしこんな豚は何といつても飼い方をかえ体質の改善が必要。

（共済組合家畜診療所）

北米移民

県選考の合格者

北米への契約移民としてさきに十二名応募していたところ、次の五氏が県の選考をパスしたと大根占農協へ連絡がありました。

なお、この人達は中央での選考に合格すると三年間北米へ行くことになります。

押領司友喜（川南）段久夫（〃）士益屋理人（安水）村岡昭（〃）寺前悟（木原）

水稲

早刈りして架干中の稲はよく乾燥したものから順に取入れて脱穀調整を始める。動力脱穀機で落す場合回転は標準一分間五〇〇回前後にし胴割れや砕米を防ぐために回転はあまり早くしないこと、来年の種子用にするものは回転数を落すか、出来れば手コギでといねいに取扱うことモミすりの場合は薄干しとしてよく乾燥してからにする。

麦

普通栽培の麦は種子金肥の手配堆肥の切返しなどを仕事の合間を見てやつておく。水陸稲早期栽培、葉タバコ、そさいなどの前作麦の作付準備を急ぐこと、普通麦の播き時は大体今月下旬から十二月五日頃迄が最適期です、水陸稲早期栽培の前作麦は早く成熟する事が必要で種まきがおくれると刈取時期もおくれ良い時期に田植が出来なくなるので、今月の二十日中心にまいたほうが麦のためにも、早期栽培の稲のためにも良いのであります

肥料は収穫目標二石位におく場合の一例として元肥に反当り堆肥三〇〇㌔金肥は成分量でチツソ八〇～一〇㌔、燐酸一～㌔一㌔五〇〇加里一㌔とします。耕土培養として石灰を撒布する場合は畦地の際に行うようにする。

作式は、水田裏作麦は普通四尺五寸の高畦にして、条間六寸位の二条播にし、畜力利用が出来ようにする。畑では麦単作の場合は一尺五寸位の畦幅に作条、早期陸稲など間作する場合には畦幅を三尺～三尺三寸位にして其の畦の中央に栽培出来るようにする。

甘藷

できるだけ晴天の続くころを見計つて作業をすすめる。貯蔵後の腐敗を防ぐため注意する。ツルが霜で枯れないうちに掘り取つてサイロに詰め、種子用のイモは病気のないものを早目に掘り取つて出来るだけ水銀剤で消毒してから貯蔵する。

なたね

直播栽培のなたねの種まきがすんでいない所は急いですませる。移植栽培の苗床で肥料切れした所は追肥をして生育を促し、アブラ虫が発生したらBHC、マラソン乳剤、テツプ剤等で駆除する。

果樹

普通温州の收穫期に入る秋肥は来年の花芽の育き方に影響するので急いですませる。乾燥した天気が続くと赤ダニの発生が多くなるので注意する。ビワの新植、補植も時期

そさい

普通エンドウの種まきを急ぎ早いところでは追肥や支柱立てを急ぐ玉ねぎ、秋播かんらんの定植、人参、ナポワの追肥、根深ねぎの土寄促成栽培のキユウリ、トマトは保温と換気に十分注意する。

早播きの青刈エンバクはそろそろ一回目の刈取りをするところです。

一回目の刈取りがすんだらすぐ硫安を反当二㌔位追肥して軽く中耕し、芽立ちをよくして下さい。

※サイロ詰込みについて

イモヅルを詰めるときは、少量づゝ数日にわたるようなことのないよう、一基分の量を用意して連続して一度に詰め込んで下さい。

直径三尺のサイロでは三〇〇㌔四尺では六〇〇㌔位必要です。

イモヅルを霜にうたせて黒変してからではよくありませんから、霜のおりない中に詰めるようにしましょう。

詰め方は十月の町報に出ていますから参照して下さい。

◎イモヌカエンシレージは農繁期の今すぐ詰めないでも一月二月でもよいです。

告知板

※基本選挙人名簿の縦覧について

選挙権を行使するためにはどうしても選挙人名簿に登録されることが必要です。

選挙管理委員会では完全な名簿を作るよう努力して、この程名簿の作成が終り、十一月十九日まで一般の縦覧に供することになりました。もし名簿に洩れていたりした場合は、この期間中に異議申立をすることができます。

あなたの名が選挙人名簿に登録されているか、ぜひ一度縦覧することにしましょう。

選挙管理委員会

※県職員の採用試験

鹿児島県職員の採用試験が行われます。くわしくは部落長さんのところに通知してありますからお問合せ下さい。

◎試験区分

初級（従来の三、四級職に相当）

中級（〃　五級職〃）

上級（〃　六級職〃）

◎申込受付期間

十一月八日から二十二日まで、県庁内県人事委員会事務局に申込むこと。

◎試験の期日

第一次試験　十二月十五日　午前九時　鹿屋市、鹿児島市で行われる

第二次試験　十二月下旬　鹿児島市で行われる。

※米の小売店の登録変更ができます

現在米の配給を受けて居る人で登録変更を希望される人は次の要領で役場経済課へ必ず期間内に申出て下さい。

一、登録変更の希望者は印鑑及購入通帖（配給通帖）を持参すること。

二、期間は一一月一五日から一一月三〇日まで（必ず期間内に済ませること。）

三、現在の小売店に、かけのある人未払金は変更は出来ない。

四、登録の変更は必ず本人が出頭して届出ること代理は認められない。

五、今後は年に一回しか実施されない（現在迄は二回）ので希望者は必ずこの期間に手続をして下さい。

※空巣がお宅をねらつています！

秋の農繁期、秋祭りの季節は「空巣」が一番活躍するときです。

当署管内で昨年発生した二一九件の犯罪の中、三分の一が窃盗三分の一が暴力事件でした。

今年は上半期だけで一二八件もの犯罪が起つています。

戸じまりをしないで留守にしたり、夜間屋外に物を干したままにしたり、自転車などを置いたままの家が案外多いようです。

盗まれる前にこのようなことはおたがい気をつけましよう。

不幸にしてやられたときは、現場はそのままにして警察にすぐ届けて下さい。

大根占警察署

※ラジオ巡回談所開設　とき十一月二十五日　ところ大根占郵便局